

小中一貫教育推進だより

つながる



平成 24 年 3 月 23 日 No. 11

十日町市教育委員会学校教育課



この 1 年を振り返って
～子どもたちに学ぶことの必要性和楽しさを教えてあげたい～

学校教育課長補佐・小中一貫教育推進係長
笠原 実

今から 1 年前の平成 23 年 3 月 16 日に十日町市職員人事異動内示があり、私にとってはその日から小中一貫教育とのかかわりが始まりました。行政事務職員として 28 年の経験はありますが、教育行政に携わるのはこれが初めてのことです。

十日町市の学校教育の現状を調べていくうちに、十日町市の子どもたちは、「書く力が弱い」、「算数・数学、英語が弱い」、「自ら進んで学ぼうとする意識が弱い」、「家庭学習の時間が少ない」、「不登校が多い」などの課題があることを知りました。

すると私は、福澤諭吉の「学問のすすめ」が頭に浮かびました。福澤は、「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らずと言われている。人は生まれながらにしての上下の違いはないのに、広く世間を見渡してみると、賢い人・愚かな人、金持ちの人・貧乏な人がいる。それはなぜなのか？勉強した人は賢く金持ちとなり、勉強しなかった人は愚かで貧乏になるのだ。だから勉強しなさい。そして、読み書き、計算、基本的な道徳など日常的に利用価値のある「実学」を身に付けなさい。」と言っています。(笠原解釈)

十日町市の学校教育のめあては、「ふるさと十日町市を愛し、自立して社会で生きる子どもの育成」です。子どもたちが「自立して社会で生きる」ためには、福澤がいう「学ぶことの必要性を意識」させ、「実学を身に付けさせる」必要を感じたところです。

ところで、十日町市にとって小中一貫教育元年となった今年度は、市の実施計画で不登校児童生徒対策を最重点に掲げて各中学校区に取組をお願いしました。その結果、教職員、児童・生徒及び家庭がそれぞれがんばっていただいた成果として、市全体の不登校児童生徒数の割合が昨年と比べて減少傾向を示しました。うれしく思います。

そして、各中学校区が乗り入れ授業や交流活動などに取り組んだ結果、小・中学校間の児童・生徒及び教職員の交流が進み、9年間のつながりの意識が高まりました。

また、モデル中学校区では、「卒業後の中学校生活に不安を抱く小学 6 年生が以前より少なくなった。」、「自分の良いところや存在価値を自覚する子どもが以前より多くなった。」などの成果がデータで具体的に表れました。

一方で、中学校区とそれぞれの学校が目指す子どもの姿、組織及び活動が複雑に絡み合ったため、小中一貫教育を柱に据えてそれらを再構築する必要にも迫られました。

来年度は、試行の 2 年目です。各中学校区におかれては、本格実施となる平成 26 年度を見据えて、計画的かつ意欲的な取組をお願いします。市教育委員会は、各中学校区の取組を支援し、検証を加えながら推進していきます。どうぞよろしく願いいたします。

試行1年目が終わろうとしています。4月から、モデル中学校区のみなさんからは熱心に取り組んでいただきました。たくさんの取組のうちの一部をここに紹介します！

交流活動

ジャンボ若葉班活動 (下条)

小学1年生から中学3年生までの異学年が集まった班で楽しく活動しました。



部活動体験 (中里)

3小学校の6年生が自分の選んだ部活動で中学生と一緒に体験しました。



合同陸上競技練習 (川西)

3小学校の6年生が中学生に教えてもらいながら、合同で練習しました。



なかよし集会 (川西)

合同修学旅行の前後に3小学校の6年生が集まって活動しました。



あいさつ運動 (下条)

小・中学校で一緒にあいさつ運動に取り組みました。



合同企画部会 (松代)

中学校の体育祭に小学生も参加する種目を小・中学生が一緒に企画しました。



乗り入れ授業等

乗り入れ授業(下条)



小学6年生が中学校で小・中学校の先生から算数の勉強を習いました。

夏季授業 (中里)



中学1年生が夏休み中に中学校で小・中学校の先生と1学期の勉強の復習をしました。

乗り入れ授業 (松代)



3小学校の6年生と一緒に中学校で、中学校の数学の先生から算数の勉強を習いました。

乗り入れ授業 (松代)



3小学校の6年生と一緒に中学校で、小・中学校の先生と英語活動をしました。

コーディネーター研修 (モデル中学校区)



初めてのコーディネーター。その役割について一緒に研修しました。

いじめ・不登校懇談会 (川西)



保育園、小・中学校の職員が講師を招いて不登校について理解を深めました。

教職員全員研修会 (中里)



中学校区の全職員が集まり、小中一貫教育の取組を検討しました。

研修

モデル中学校区合同発表会 (モデル中学校区)



4モデル中学校区が4月から取り組んだ成果と課題を発表しました。

こんな成果が見え始めています！

- ・小学6年生の中学校生活への不安が、以前より少なくなりました。
- ・中学1年生の部活動不適応者が、例年より少なくなりました。
- ・不登校の子どもが少なくなったり、不登校の子どもの欠席日数が以前より減ったりしました。
- ・自分には良いところがあると思う子どもが多くなりました。
- ・小・中学校間、小学校間の職員の相互理解が深まりました。

モデル中学校区からの報告より

教職最後の1年間を、モデル校の校長として小中一貫教育の推進に熱心に取り組んでいただきました。退職を前に実践を振り返り、その熱い思いを伝えていただきました。



ハードルは高くもあり低くもあり」

十日町市立下条小学校

校長 高橋 政子

下条地区は、早くから小中一貫教育のモデル校に指定されておりました。そこで、私は小中一貫教育基本計画策定委員会で学んだことを職員に伝え、職員とともに小中一貫教育について学習しました。「小中一貫教育とはどんなことをするのか?」「小中一貫教育の利点は何か」「問題点は何か」などを資料や視察から学びました。下条地区校長会ではモデル校に指定されたことを機会に動き出し、「下条地区小中一貫教育基本構想」を練り上げました。まず、両校の校長や教頭で共通理解することからスタートしました。両校の全職員と小中一貫教育の学習会をしたり、基本構想の共通理解をする合同職員会議をしたりと、平成22年度の長期休業から始めました。下条地区は一小一中の良さがあり、他地区よりは共通理解の時間はかからないだろうと合同企画部会や合同職員会議をスタートしました。細かな提案は企画部会で検討し、合同職員会議では全職員が動き出せるような具体的な内容を検討しました。

そして、平成23年度初めから合同職員会議や合同企画部会を繰り返しました。主に、指導計画づくりと人間関係づくりの教育活動についての話し合いです。でも、職員の共通理解は、最初から思うようには進みませんでした。校種の違いのためか、小学校と中学校の文化の違いによる教職員の意識のズレがありました。下条地区のメインの活動は9年間の子どもたちのメンバーによる縦割り班活動をすることでした。1年間、同じ班のメンバーで人間関係を作る挑戦をしました。中学校では部活動やテストや大会の忙しい合間の時間を見つけての活動でした。そのような中でも学期に1回の活動をしてきました。子どもたちはとてもいい動きをしてくれました。2回目の実践になると、中学生はリーダーとして、班の仲間が活動できるようにやさしく声がけができるようになりました。小学生は、分からないことがあると中学生のリーダーや仲間に聞き、楽しそうに活動をしていました。回数を重ねるごとに中学生の表情もやさしくなり、配慮のある言動ができるようになりました。

この子どもたちのすばらしい変容の姿を見た教職員は、小中一貫教育に手応えを感じ取りました。教職員間の意識のズレも次第になくなりました。新しいことを始めるにはだれもが億劫になりますが、下条地区では高いハードルだと思っていたハードルを小・



小学1年生がやさしい中学3年生に接し、好きになり、離れたなくなりました。

中学校の教職員が協力をして飛び越えることができました。子どもたちの変わる姿で励まされながら、小中一貫教育を1年間進めてきました。共通理解のための合同職員会議の開催回数を増やすことができないことが課題ですが、下条地区では次年度も本年度の教育活動の実践を根底に据え、ハードルを一つずつ飛び越えていきたいと考えています。飛び越すまでは不安で心配をしておりましたが、越してみれば案外低いハードルだったかなとも思えるようになりました。教育は新しい風も時には必要だと思えるようになりました。

モデル中学校区のみなさん、1年間ありがとうございました！！

モデル中学校区以外のみなさん、耳より情報です！！

いよいよ、試行2年目の次年度は、他の中学校区でも次年度からグランドデザイン策定等さらなる具体的な取組が始まります。モデル中学校区の取組を参考に、各中学校区の実態に即した取組を期待しています。

モデル中学校区の合同発表会のアンケートで、取組の具体的なデータが欲しいとの声がありました。そこで、モデル中学校区の取組を活用しやすいようにデータでお届けします。アイデアと工夫がたくさんつまったデータです。データはセンターサーバの「学校間共通」のフォルダ内の「小中一貫教育」→「モデル校紹介データ」に掲載してあります。是非一読し、ご活用ください。



モデル中学校区4月の活動予定



日時	<内容>	会 場	見 どころ
4月3日(火)	<小・中特別支援学級・新担任情報交換> ※ 時間未定	田沢小学校	・中学校の特別支援学級の新しい担任・小学校の旧担任の間で情報交換し、より適切な支援の在り方について協議します。
4月10日(火)	<推進部会> 15:30～ <教育課程班会議> 16:20～	中里中学校	・第1回推進部会 平成24年度に取り組む「中里の子育成プラン」について協議します。 ・第1回教育課程班会議 平成24年度の事業や「総合的な学習の時間」の指導内容系統表の検討手順について協議します。
4月13日(金)	<教職員協議会総会> 15:00～	千手中央コミュニティセンター	・川西中学校区の職員が集まり、小中一貫教育にかかわる方針や平成24年度取組内容等を確認し合います。
4月17日(火)	<合同職員会議> 15:00～	下条小学校 視聴覚室	・平成24年度の次の取組について、確認したり検討したりします。 「小中一貫教育の大綱及び年間行事予定」 「学力向上にかかわる合同教科部会報告」 「9年間を見通した教科領域別系統表」 「小学校運動会への中学生参加について」
4月24日(火)	<推進会議> 18:30～	中里中学校	・地域の代表を招いて、今年度の取組と成果について確認するとともに平成24年度取組について共通理解を図ります。また、今回は「中里地区子ども健全育成委員会」と合同で行い、子どもの育ちに関わる活動について共通理解を図り、各分野において「能力・態度プログラム」を念頭に置いた活動を展開することを確認します。